

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 1 - 1
作成年月日 24.7.24
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 地方特定道路整備事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成23年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 8. 土木費 項 1. 道路橋梁費 目 3. 道路新設改良費

担当課 建設課 担当係名 土木係 調書作成者職氏名 課長 吉川澄雄

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 3

分類	コード	名 称
基本目標	1	安心して暮らせる“まちづくり”
施策項目	1	道路・交通網の整備
単位施策	3	町道の整備

I. 事業計画

(1) 【事業の相手】	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 町道1級の幹線道路である「興部浜町1号道路舗装工事」 (浜町須藤地先から興浜橋を超える地点までの延長378m)
(2) 【事業の概要】	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 舗装の痛みがひどく、興浜橋から港寄りの地盤が低く、窪み状となっているため、大雨時には道路が冠水するため舗装の打ち換えのほか、雨水排水、一部の歩道を合わせて整備する。
(3) 【事業の成果】	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 道路の地盤を整備することにより、安全・安心や日常生活の利便性が保たれる。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種 別	内 容	区 分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	成果指標	興部浜町1号道路舗装工事	目標値 実績値	m				380 378	
2	成果指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	14,983	24,001	19,762	12,999	0	71,745
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債		12,900	21,600	17,700	11,600		63,800
その他							0
一般財源		2,083	2,401	2,062	1,399		7,945

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	町道の1級幹線道路であり、漁業振興上、緊急性も高く妥当と考える。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☐ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	経年劣化であり、地区住民から早期に整備の要請が強い。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	町道の1級幹線道路であり、行政主体による実施が適当と考える。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	優先順位に基づき、計画どおり進捗し、成果があがっていると考える。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	休 止	過疎債の枠の関係で本事業は一般単独債で実施してきたが、次年度以降当面は新規の道路整備、公共発注事業の拡大等の事情を除き過疎債の枠の中で実施するため。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの